

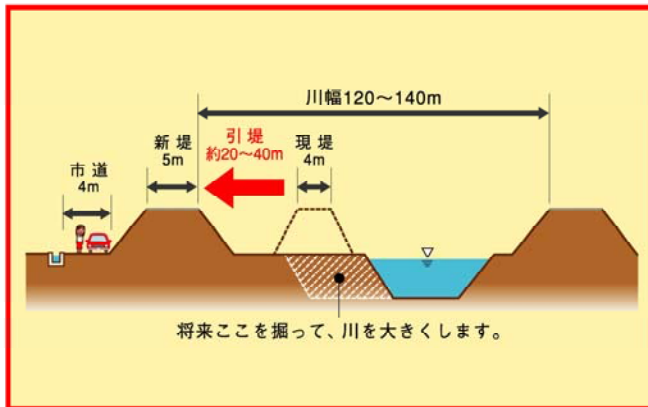
床上浸水対策特別緊急事業等の効果

○事業概要

桑野川における戦後最大規模の洪水である平成11年6月29日の洪水では、桑野川左岸の阿南市宝田町から長生町で約240haが浸水し、床上浸水22戸、床下浸水232戸が浸水するなど甚大な被害が発生しました。

この洪水被害を鑑み、浸水被害を軽減させることを目的として、「桑野川河川災害復旧等関連緊急事業（平成11年度～14年度）」、及び「桑野川床上浸水対策特別緊急事業（平成14年度～21年度）」により、河床掘削や引堤による河道拡大や排水ポンプ場の整備を行いました。

(事業のイメージ図)



引堤工事



2基の排水ポンプ場の設置



航空写真

○事業効果

H22.4月低気圧豪雨による被害は、同規模の降雨・流量であったH10年豪雨、H16年台風に比べ、河床掘削や引堤による河道拡大や排水ポンプ場の整備による効果により、大原観測所の水位はH10年豪雨と比べて約60cm低くなり、浸水戸数も減少している。

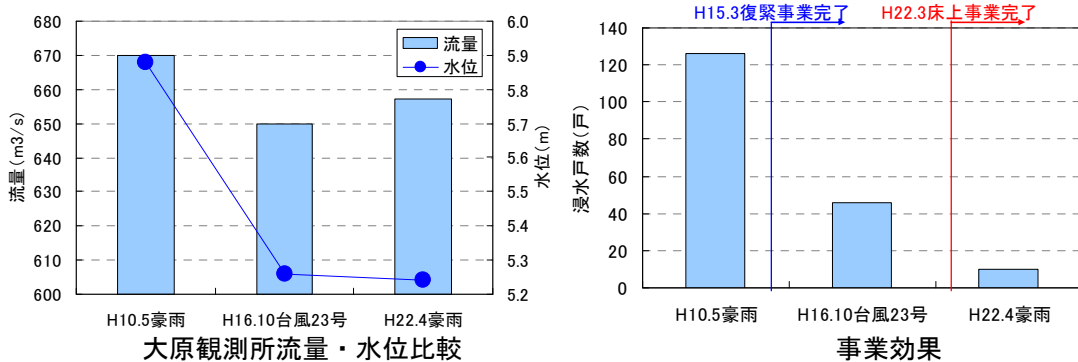
(既往洪水との比較)

年 月	気象	大原上流域平均雨量			大原水位観測所		浸水戸数 (桑野川直轄区間) (戸)
		1時間雨量 (mm)	3時間雨量 (mm)	24時間雨量 (mm)	水位 (m)	流量 (m ³ /s)	
平成10年 5月	低気圧豪雨	59	135	307	5.88	670	126
平成16年10月	台風23号	45	105	303	5.26	650	46
平成22年 4月	低気圧豪雨	98	190	288	5.24	657	10数戸*

* : H22.4月豪雨の浸水戸数は4月27日21時現在の状況であり阿南市富岡町他地域を含む。

現在確認中であり変更する場合がある。

注) H10.5豪雨、H16年台風の浸水戸数は痕跡調査による。



※H22.4豪雨については現在確認中

